

AIは理学の研究にどう活かせるのか？ — ブラックホールの観測的研究への データサイエンス・AI活用例

2026.10.30 金 12:35-13:20

開催方法 オンライン (Zoomウェビナー)

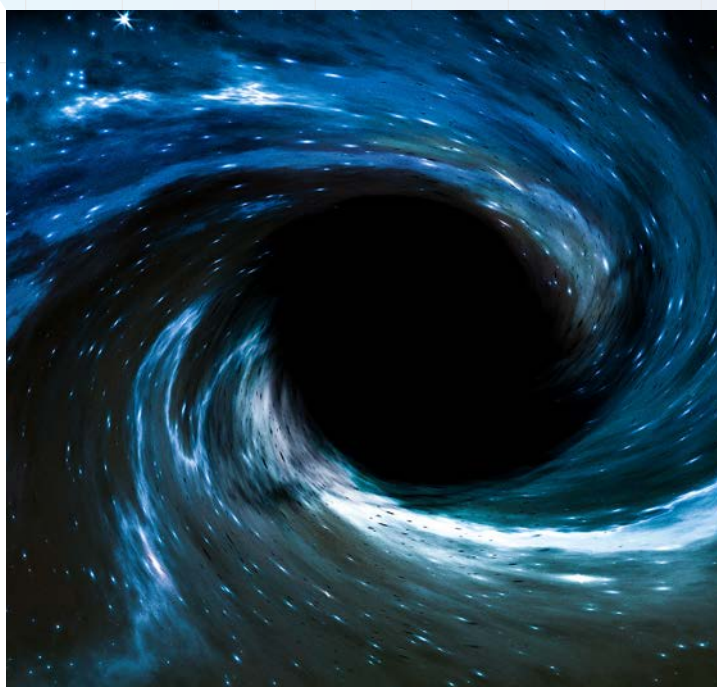
対象

理学領域のデータ分析における
AI活用に興味をお持ちの方

ブラックホールに興味をお持ちの方

東京科学大学の学生・教職員、
他大学や企業の方も歓迎

- » 理学研究にも広がる
データサイエンス・AI
- » 自分が興味のある
分野でのAI活用を
考えてみよう！



講演者



橘 優太郎 特任准教授 東京科学大学 データサイエンス・AI 全学教育機構

AIの社会実装を専門とする実務家教員。超巨大ブラックホールの観測的研究にて東京科学大学(旧東京工業大学)博士課程を修了後、AIを専門とする経営コンサルティングに従事。東京科学大学特任准教授。博士(理学)。

申込はこちらから →

事前の登録にご協力ください。
当日のお申込みも可能です。

<https://www.dsai.titech.ac.jp/seminar08/>

お申込み



お問合せ

東京科学大学
データサイエンス・AI 全学教育機構
E-mail: seminar@dsai.isct.ac.jp

